



「伝統と実績の100周年。未来へつなぐ愛情教育」
2018年 駿台は創立100周年を迎えます

2016年11月4日
学校法人 駿河台学園 広報部

次期学習指導要領設置検討科目
「理数探究」特別講座
物理・化学・英語の3講師による科目横断

駿台教育研究所では、高校2年生を対象とした次期学習指導要領設置検討科目「理数探究(仮称)」の特別講座を、2016年11月20日(日)13:30~16:20、お茶の水1号館にて実施いたします。

【本件のポイント】

- 「理数探究」特別講座として、物理(笠原邦彦講師)・化学(吉田隆弘講師)・英語(駒橋輝圭講師)の駿台講師により、科目横断的な学びを通じ普遍的(不変的)な学力と学問の基本的リテラシーを考える。
- 文科省は、8月に発表した「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ(案)のポイント」で教科の枠にとらわれない多角的・多面的な視点で事象を捉え、数学や理科における「見方・考え方」を活用しながら探究的な学習を行い、新たな価値の創造に向けて粘り強く挑戦する力の基礎を培う科目として「理数探究基礎(仮称)」・「理数探究(仮称)」の設置検討を表明。
- 駿台では「理数探究」に関する講座は初の実施。「理数探究」の学びの可能性を提案。

【本件の概要】

～考え方を考える～

教科・科目の枠にとらわれない横断的な学びを通じ、普遍的・不変的な学力(深い思考力や柔軟な想像力・創造力)を涵養すると同時に、学問の基本的なリテラシーを身に付けることを目指すのが「理数探究」です。この「理数探究」は、今後の教育改革推進の一環でもあります。

そもそも日常で、掃除は物理のもの、洗濯は化学のもの、なんてことはありません。高尚なことを言い出すまでもなく、この世界では常に横断的なものの見方が必要とされているのです。

今回の授業では、無責任に抽象的なスローガンを掲げるのではなく、具体的に「なるほど、そういうことか!」と実感してもらえるような教材・講義を準備しています。

【今回のテーマ】

①横断的なものの見方について

(例えば、化学の相対質量、英語の時制などに共通した見方は?)

②1つのことを深く探究することと幅広い視野を持つことの間わりについて

(例えば、重力波の検出はどのようなことと関係しているのか?)

お問い合わせは、駿河台学園広報部(担当:中村)までご連絡ください。

(学)駿河台学園 広報部
TEL 03-5259-3231
FAX 03-5259-3057
E-Mail public-s@sundai.ac.jp